

新潟県における暖温帯常緑樹の短報 (4)

朱 雁

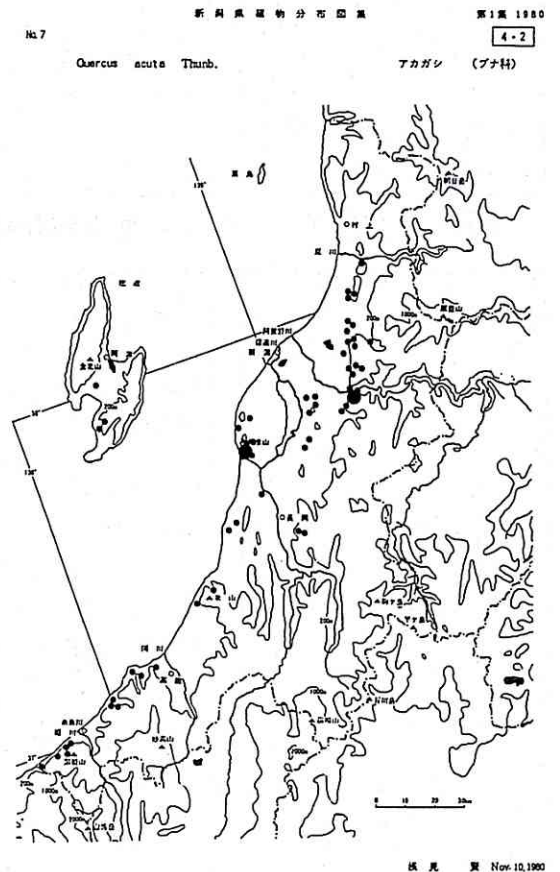
国上山と阿賀野川沿いにおけるアカガシの分布と生態

新潟県内のアカガシ *Quercus acuta* [ブナ科コナラ属・常緑高木]の分布は海岸沿いの山地を北上して県の北部(荒川町)まで達している(分布図)。本種の分布と生態に関連して、これまで阿賀野川沿いのアカガシの分布(朱 2003)および北限のアカガシ群落(朱 2004)について記録している。ここではさらに国上山と阿賀野川沿いに生育するアカガシの分布と生態について報告する。

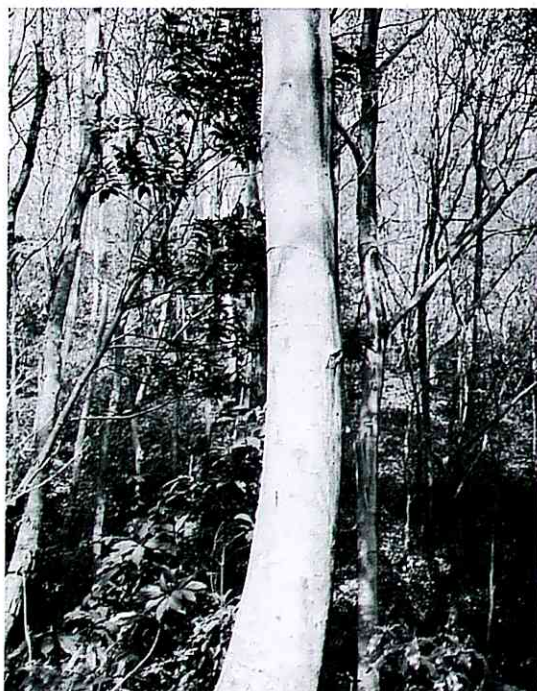
I 国上山におけるアカガシ

国上山のブナ林は低海拔地に分布し(尾崎 1983)、暖温帯の常緑樹と混生することで新潟県の天然記念物に指定されている(1993年)。この樹林内に生育するアカガシについて調査したので記録する。

アカガシは山地の斜面にブナと一緒に生育し、幹周18.8cmの大きさでこのブナ林の亜高木層に出現している。低木層にもアカガシが多く生育しており、他にヤブツバキやヒサカキなど常緑樹がある。草本層にはアカガシやヤブツバキ、エゾユズリハなど常緑性木本その他、常緑性草本のコシノカンアオイ、アオバズゲなどがある。詳細な植生については下記のようなのである。



●黒丸(大)は追加
アカガシの新潟県における分布



写真：国上山におけるアカガシとブナの共存(2005 4 19)

調査日:2005年4月19日

場所:新潟県西蒲原郡分水町国上 国上山 海拔180m [寺泊 5638-36-95]

N37° 39.994' ; E138° 48.681'

調査範囲:5×5m

高木層(高8m~):ブナ1・1(幹周118cm)、ナツツバキ1・1(幹周90cm~)

亜高木層(高2~8m):アカガシ(幹周:18.8cm、高さ5m)1・1

小低木層(高1~2m):アカガシ1・1(高1.8m)、ヤブツバキ1・1(高1.8m)

低木層(高80cm~1m):アカガシ1・1、ヤブツバキ1・1、ヒサカキ1・1、エゾユズリハ1・1、ヒメアオキ1・1、エゾツリバナ1・1

草本層(高80cm以下):アカガシ1・1、ヤブツバキ1・1、ヒサカキ1・1、ツルアリドオシ1・1、チゴユリ1・1、エゾユズリハ1・1、カタクリ(実)1・1、ヤブコウジ1・1、ヒメアオキ1・1、ミヤマナルコユリ1・1、コシノカンアオイ1・1、オオカメノキ1・1、ウリハダカエデ1・1、ハイイヌツゲ+、アオダモ+・1、コシアブラ+、ヤマウルシ+、モミ(実生)、オクチョウジザクラ+、アオバスケ+

周辺にはシシガシラ、アカマツ(高)、モミ、チャボガヤ、ブナ(高)、アカガシ、タムシバ(花満開)、シロダモ、トキワイカリソウ、オウレン(実)、コシノカンアオイ、ナツツバキ(高)、ヤブツバキ(花、亜・低・草)、ヒサカキ、モミジイチゴ、ウワミズザクラ、オクチョウジザクラ(花)、エゾユズリハ(蕾、低・草)、コハウチワカエデ、ウリハダカエデ、ハイイヌツゲ、オオタチツボスミレ、ナガハシスミレ(花)、マキノスミレ(花)、ヒメアオキ(花と実)、キツタ、ウスノキ、ヤマツツジ、ヤブコウジ、ツルリンドウ、ツルアリドオシ、ムラサキシキブ(芽)、ケナシヤブデマリ、オオカメノキ、アキノキリンソウ、カタクリ(花)、チゴユリ、ショウジョウスゲ、アオバスケなどがある。

II 阿賀野川沿いにおけるアカガシ

東蒲原郡阿賀町では、阿賀野川沿いの内陸に暖温帯の植物が侵入している事例が見られる。アカガシもその一例であり、すでに本年報で河川沿いの生育について紹介している。

今回は、それに引き続き、三川の小石取(大沢)地域(釣浜から阿賀野川沿いに西に移動して五泉市佐取との境界付近)の山中に生育するアカガシの古木と周辺の植生について調査した結果を記録する。生育地はいずれも北東から東向きのやや急な斜面(海拔170m~200m)である。アカガシの樹は、幹が単木で直立する場合は少なく根元で何本かに分岐している。

調査日:2005年4月23日

場所:新潟県東蒲原郡阿賀町(三川)小石取(大沢) [津川 5639-42-74]

○アカガシ古木 No.1

阿賀町(三川)小石取(大沢)170m April 23, 2005 津川5639-42-74

N37° 43.911' ; E139° 18' 00. 海拔170m

海拔170mのところの生えている古木であり、東南東向きの斜面に生育している。根元から斜上する樹幹は地上垂直80cmの高さのところまで2〔①と②に〕分岐し、その①の幹周が193cmで、さらに本幹の上層部、地上から約4m高さのところでもまた太い2幹に分かれている。その②の幹周が272cmで、本幹は地上から120cmの高さのところでもまたaとbに2分岐し、a幹周が140cmで、b幹周が186cmである。a幹とb幹の上層部では地上から約4m高さのところでもa幹がまた太く2分岐し、b幹も太い2幹にわかれている。

アカガシ樹冠下の植生はほとんどなく、周囲には高木層(高8m~):ホオノキ、フジがあり、亜高木層(高2~8m)にはマルバマンサク、ハウチワカエデ、オオカメノキ、リョウブ、ミヤマガマズミがある。

低木層(1~2m)にはチシマザサ、ユキツバキ、マルバマンサク、ヒメアオキ、ハウチワカエデ、チャボガヤ、オオカメノキ、リョウブ、ミヤマガマズミ、テイカカズラ、アカガシが生育しており、草本層(1m以下)にはチシマザサ、オクノカンスゲ、ユキツバキ、ホソバカンスゲ、テイカカズラ、ユキグニカンアオイ、マルバマンサク、ヤブコウジ、ヒメアオキ、ハウチワカエデ、チャボガヤ、コマユミ、ナガハシスミレ、オオカメノキ、ウワミズザクラ、ハイイヌガヤ、ミヤマガマズミ、ツルアリドオシがある。



古木 No. 1



古木 No. 1(株元)



古木 No. 2~7(生育状況)



古木 No. 3、No. 5



古木 No. 5~7



古木 No. 8

阿賀野川沿い三川のアカガシの古木 (2005 4 23)

○アカガシ古木 No.2~7

海拔200mのところにあかガシの高木6株が一定の空間を保ちながらバランスよく山の東南東斜面にまとまって群生している。ここではそれぞれの古木の測定結果を記録する。生育地の位置は(N37° 43.908' ; E139° 17.977')であり、20m×20mの範囲に生えている。

No.2. アカガシ2本株立：根元で2分岐

①幹周77cm、②76cm、主幹上部の枝は分岐せず伸長。周辺に高木のカスミザクラ。

No.3. アカガシ4本株立：根元で4分岐

①幹周203cm、この幹は根元から斜上し、高さ120cmのところであ・b・cに3分岐

a. 幹周134cm、b. 93cm、c. 70cm

②幹周173cm、③58cm、④59cm

No.4. アカガシ2本株立：根元で分岐 (No.3のアカガシの生育地の隣)

①幹周39cm

②幹周：この幹が斜上し、地上120cm高さのところでa・bに2分岐

a. 幹周42cm、b. 32cm.

No.5. アカガシ2本株立：根元で2分岐

①幹周110cm、②206cm

No.6. アカガシ3本株立：根元で3分岐

①幹周67cm

②幹周：この幹は地上120cm高さのところでa・b・cに3分岐

a. 90cm、b. 57cm、c. 37cm

③幹周59cm

No.7. アカガシ単幹、幹周113cm この株はNo.5とNo.6から少し離れた下方の斜面に生育。

上記No.2~7のアカガシ樹冠の下には植物がほとんど生えていない。この群落全体の植生を見ると、高木層にはアカガシ3・4、コナラ1・1、テイカカズラ1・1、カスミザクラ+・1、フジ+があり、亜高木層にはソヨゴ1・2、ハウチワカエデ1・2、テイカカズラ1・1、ヒサカキ1・1、オオカメノキ(花)+・1がある。低木層にはユキツバキ2・3、チャボガヤ2・2、チシマザサ2・2、アカガシ1・2、ヒメアオキ1・2、オオバクロモジ1・2、ハウチワカエデ1・2、ヒサカキ(高1.8m)1・2、ソヨゴ1・2、ムラサキシキブ1・1があり、草本層にはユキツバキ2・3、チャボガヤ2・2、ヒメアオキ2・2、オオバクロモジ2・2、ツルアリドオシ2・2、チシマザサ2・2、オオカメノキ2・2、ユキグニカンアオイ2・2、オクノカンスゲ2・2、シシガシラ1・2、アカガシ1・2、ヒサカキ1・2、ナガハシスミレ1・2、ムラサキシキブ1・2、テイカカズラ1・2、ヤブコウジ1・2、ヤマツツジ1・2、ミヤマガマズミ1・2、イチヤクソウ1・2、ニシキゴロモ1・2、ホソバカンスゲ1・2、ハウチワカエデ1・1、トウゴクシダ1・1、ソヨゴ+などがある。

○アカガシ古木 No.8 根元で4本分岐

海拔90m スギ林上の急斜面に生育する (N37° 43.963' ; E139° 18.205')。

①幹周90cm;②96cm;③125cm;④90cm.

アカガシの樹冠の下に植物が少ない。植生範囲内(5×5m)には高木層がアカガシだけある。亜高木層にはヒサカキ1・1、ヤマモミジ1・1がある。低木層にはヒメアオキ1・2、ヒサカキ1・1、ヤマモミジ1・1があり、草本層ではショウジョウバカマ2・2、オクノカンスゲ1・2、フモトシダ1・1、ヒサカキ1・1、ヒメアオキ1・1、ミヤマイトチシダ1・1、オオバクロモジ1・1、ベニシダ1・1、ヤマモミジ1・1、シシガシラ1・1、ジュウモンジシダ1・1、スミレサイシン+、オオタチツボスミレ+が木影の隙間に僅かに生育している。

文 献

尾崎富衛(1983) 国上山のブナ林「新潟のすぐれた自然 植物編」443-444. 新潟県

朱 雁(2003) 新潟県における暖温帯常緑樹の短報(1) アカガシ・ソヨゴの分布 新津植物資料室年報 2002:19-22.

朱 雁(2004) 新潟県における暖温帯常緑樹の短報(2) 北限のアカガシ群落 新津植物資料室年報 2003:24-25.